

■PHDGuiding での接続方法 (ASI120MM の場合)

- 0) ASI120MM の付属 CD にあるソフトウェア、ドライバーの中から、以下のものをインストールします
ASCOMPlatform6SP1.exe

(最新の ASCOMPlatform はバージョン 6SP2 です。新しい PC に ASCOM をインストールする場合は
<http://ascom-standards.org/>
からダウンロードすることをお勧めします)

ASI SDK_Setup.exe

ASI120MM_Setup.exe

ASICamera ASCOM Setup.exe

ASICamera ST4 Telescope ASCOM Setup.exe

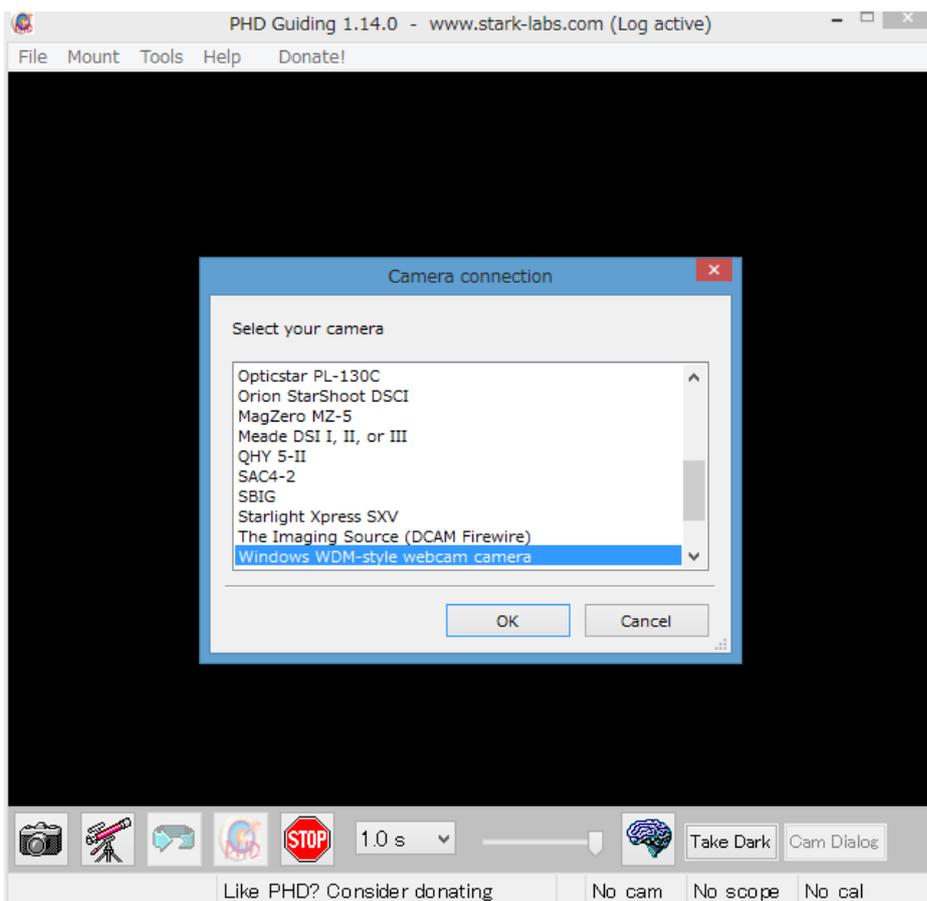
(このファイルは ZWO のサイト

<http://www.zwoptical.com/software/ASICamera%20ST4%20Telescope%20ASCOM%20Setup.exe>

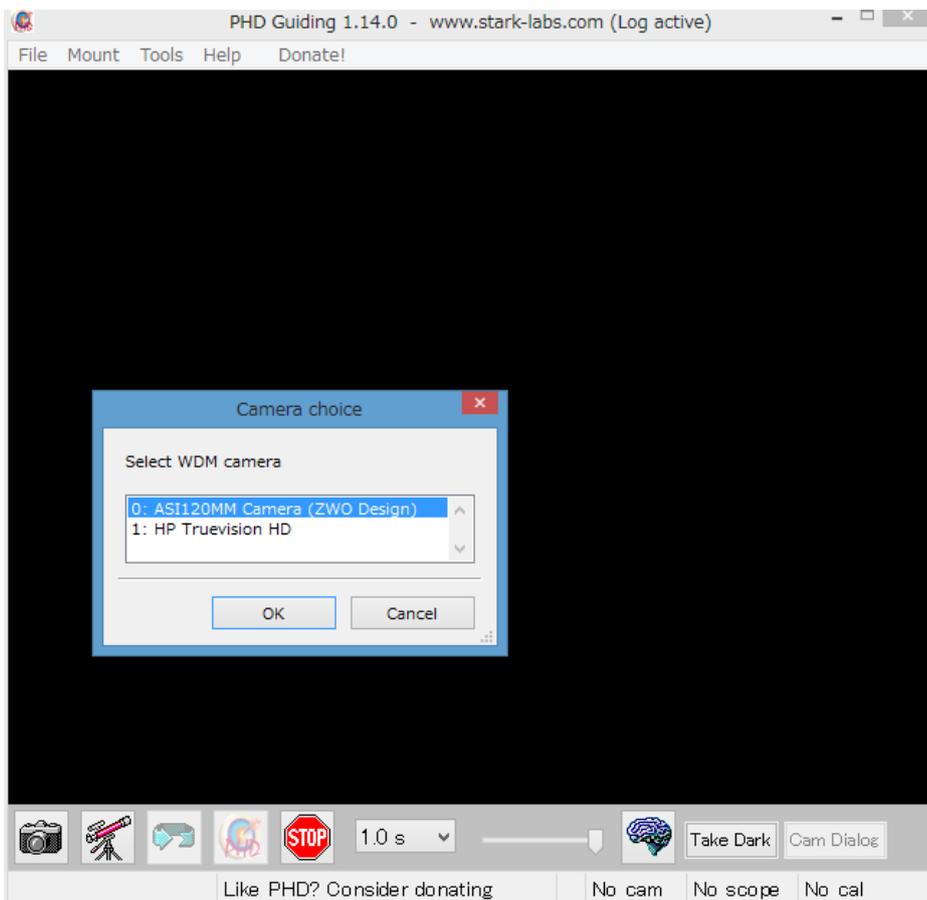
からダウンロード、インストールします

PHDGuiding はインストールされているものとしてします。

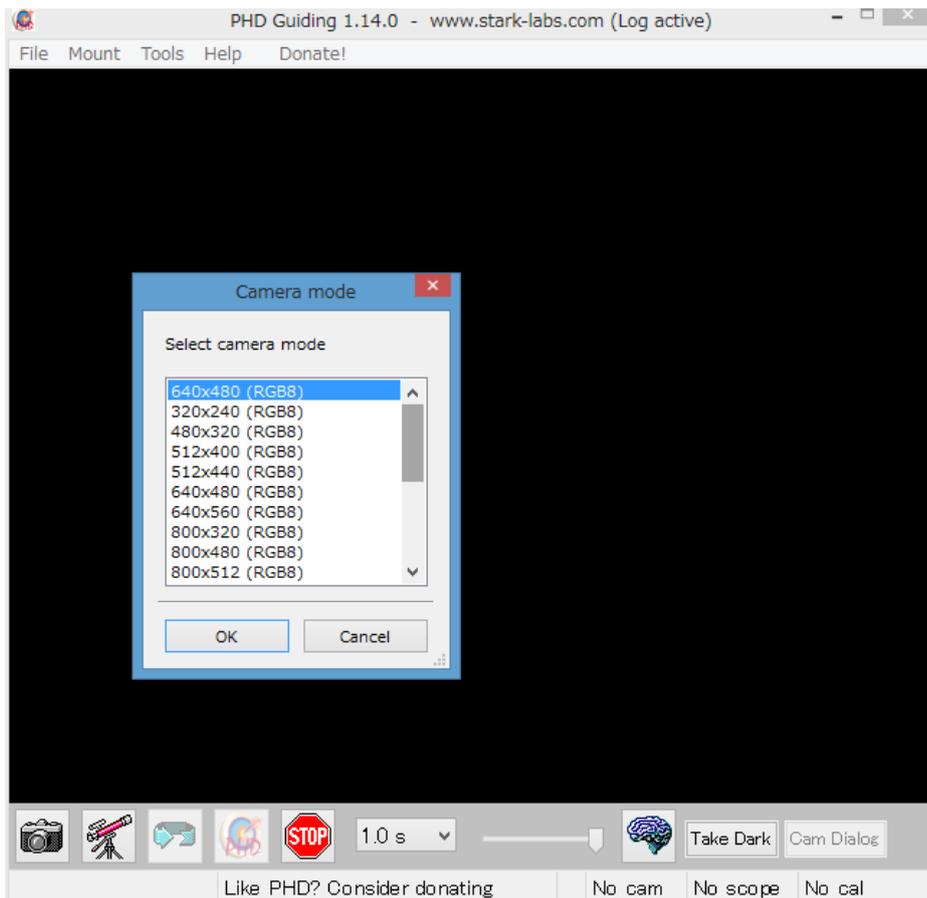
- 1) PC にカメラを接続し、PHDGuiding を起動します。
カメラアイコンをクリックし、接続するカメラを指定します。
ここで、「Windows WDM-style webcam camera」を選択します。



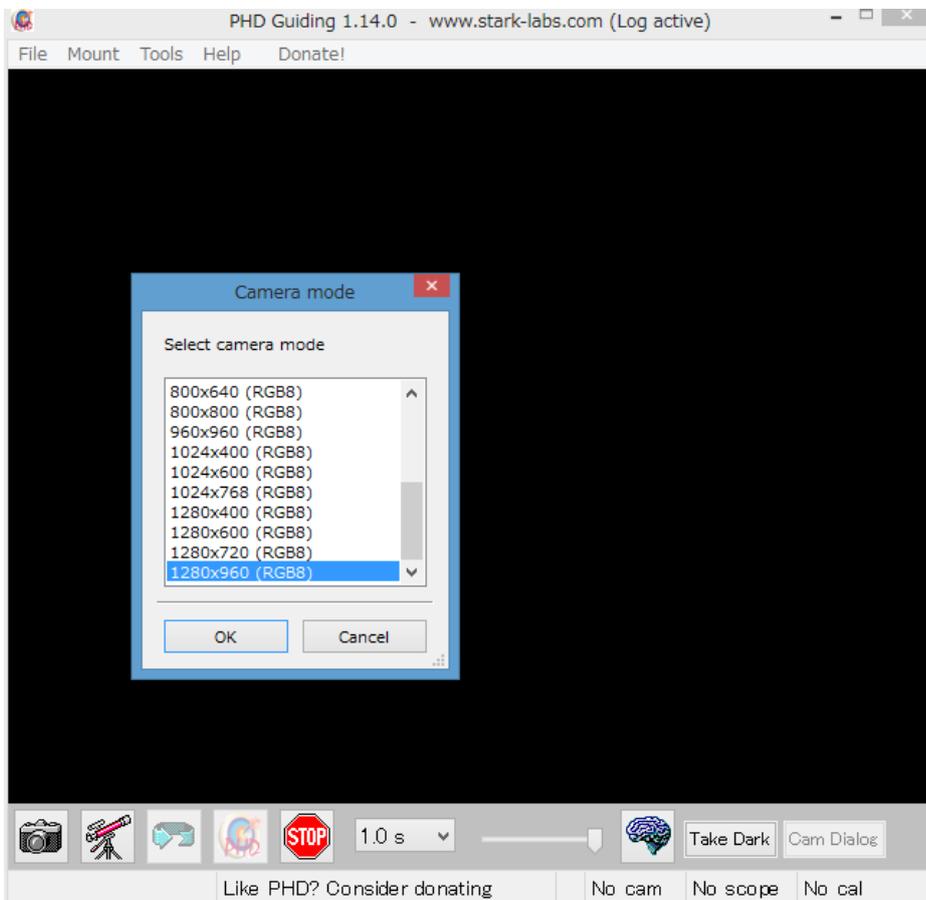
2) PCに接続されている webcam が一覧表示されるので、その中から ASI120MM カメラを選択します。



3) カメラがサポートしている解像度を選択します。

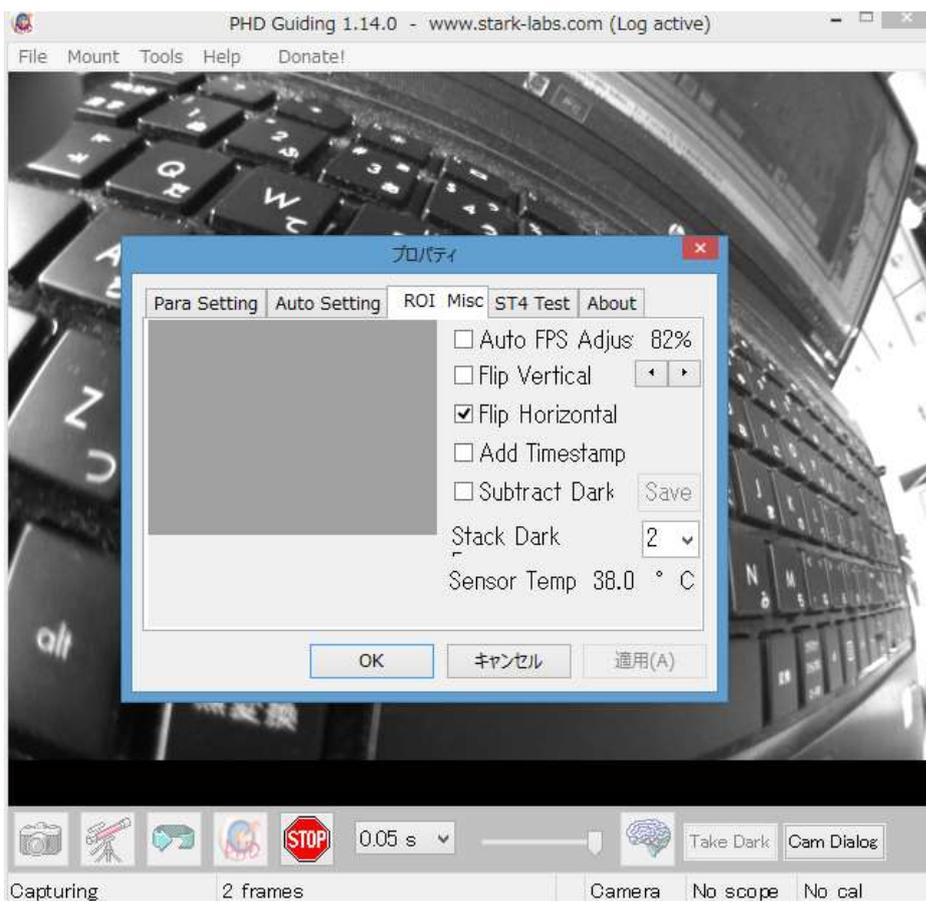


ASI120MM がサポートしている解像度が一覧に示されます。その中から適切な解像度を選択します

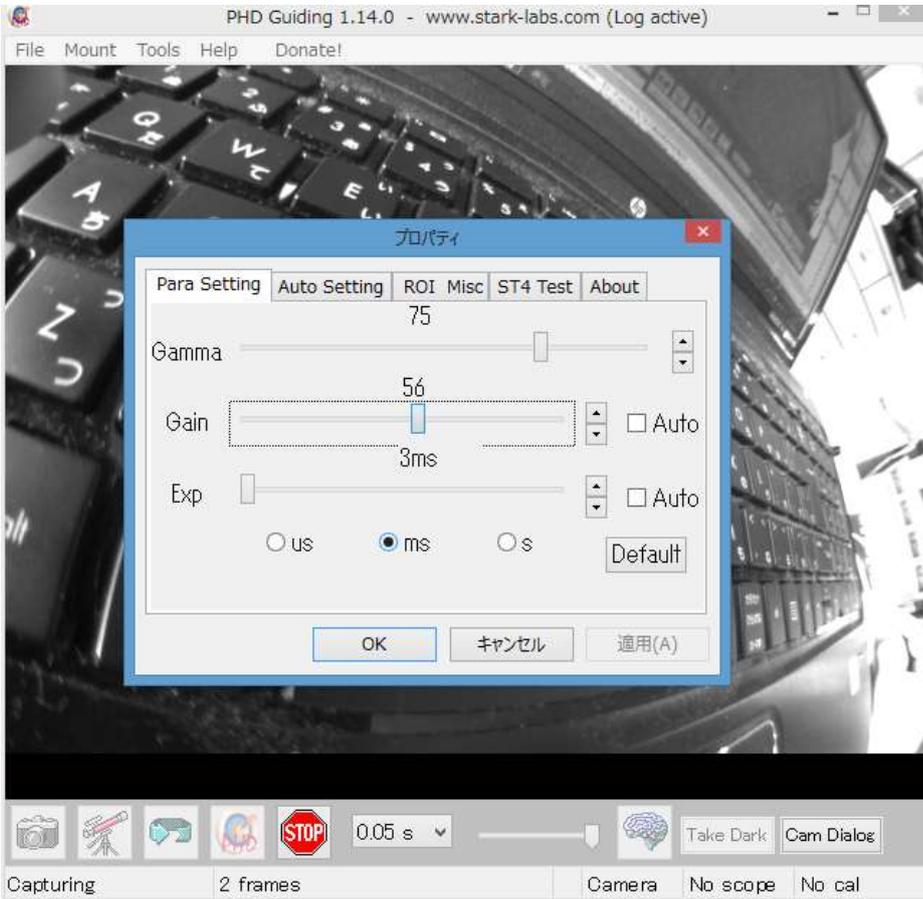


ASI120MM が備える最大の解像度までサポートしています。

- 4) 接続が完了すると、PHDGuiding 下部のカメラステータスが “No cam” から “Camera” に代わります。これで画像が PHDGuiding に表示できるようになりますのでキャプチャーボタンをクリックして画像を確認します。



最初は画面が鏡像になっているので、右下の「Cam Dialog」ボタンをクリックしプロパティダイアログボックスを表示します。その中の「ROI Misc」タブの中の “Flip Horizontal” にチェックを入れることで表示画面が正像になります。

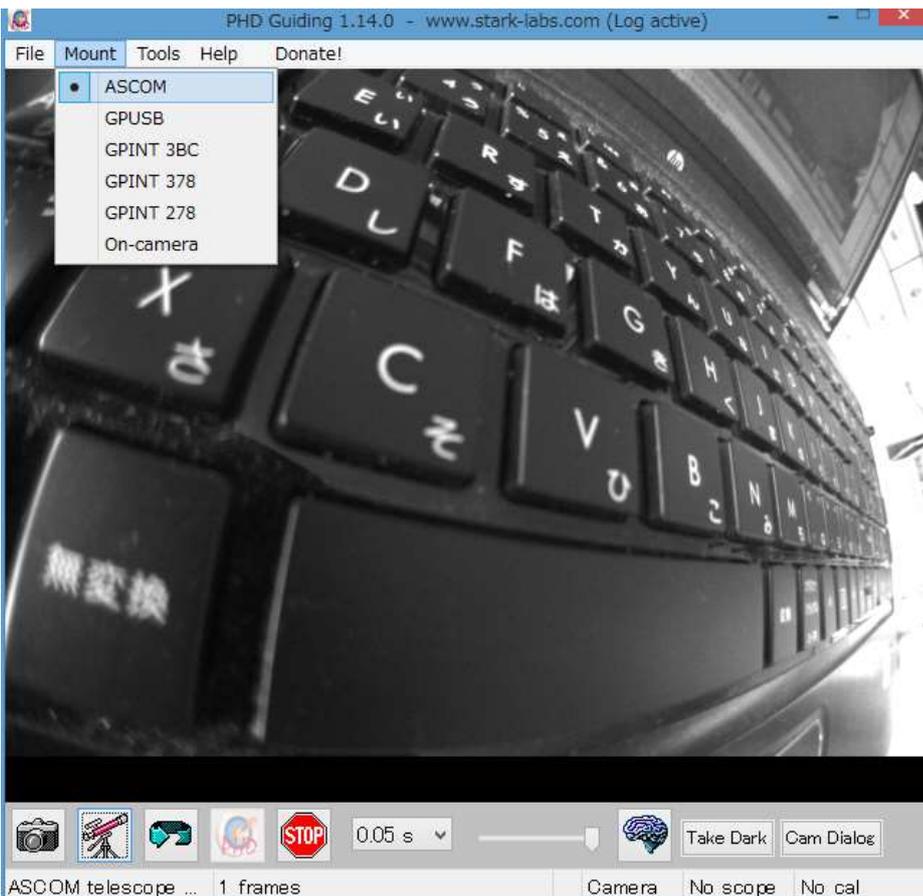


「Para Setting」タブでは Web カメラとしての露出(シャッタースピード)の設定が可能です。

このシャッタースピードと PHDGuiding の “Camera exposure duration” とは無関係のようです。

PHDGuiding の “Camera exposure duration” はガイド信号発信間隔と考えると、Web カメラの露出は PHDGuiding の間隔より大きくしない方が良いと思います。

5) 望遠鏡との接続は ASCOM 接続となります



「Mount」メニューから “ASCOM” を選択します

6) 望遠鏡アイコンをクリックして望遠鏡と接続する ASCOM ドライバーを指定します



ここで ASI ST4 Telescope Driver を選択します

ここで Properties ボタンをクリックして、ZWO ASI120MM がカメラとして選択されていることを確認してください。



正しく接続されれば、画面下の望遠鏡ステータスが “No scope” から ”Scope “に変わります。

これで ASI120MM を使ったオートガイドのための PHDGuiding との接続は完了です。

PHDGuiding のパラメーターセッティングなどは別途環境に合わせて適宜調整してください。

この資料の内容に不備や間違いがあった場合は星見屋の責任でこの資料を修正しますが、このソフトを使用した結果についての責任は星見屋は持ちません。ご理解のほどお願いいたします。